

Eriko Iso

人気、実力を兼ね備えた  
ミュージック達による  
華やかなピアノ三重奏の調べ

©Yoshinori Kurosawa

# 椿三重奏団

磯 絵里子 新倉 瞳 高橋 多佳子  
(ヴァイオリン) (チェロ) (ピアノ)

Takako  
Takahashi

演奏予定曲目

- エルガー：愛のあいさつ (トリオ版)
- ショパン：ノクターン8番 (ピアノ・ソロ)
- サン＝サーンス：白鳥 (チェロ・ソロ)
- ディニク：ひばり (ヴァイオリン・ソロ)
- モンティ：チャルダッシュ (トリオ版)
- メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品49 ~ 第1楽章
- ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 作品8

※プログラムは変更になる場合がございます。

Hitomi Nukura

©アールアンフィニ

椿三重奏団

2019年4月24日(水) 横浜市栄区民文化センターリリスホール  
14:00開演 (13:30開場) (JR本郷台駅より徒歩3分)

全席指定 3,500円 (税込)

ご予約  
お問合せ

横浜市栄区民文化センターリリス 045-896-2000 (9:00~21:00)  
プレイガイド：ローソンチケット <http://1-tike.com> (Lコード：35466)  
0570-000-407 (オペレーター10:00~20:00) 0570-084-003 (自動音声24時間)  
発売：2019年2月4日(月)  
10時よりリリス窓口先行発売・14時より電話予約・プレイガイド販売受付

※未就学児のご入場は遠慮ください。  
※車いすでご来場のお客は、ご購入の際にお問い合わせください。



## 椿三重奏団について

椿の花言葉には控えめな素晴らしさ、気取らない優美さなどがあり、白い椿には「完璧な美しさ」という意味があるようです。日本原産の樹木である椿は、18世紀にヨーロッパに渡り「東洋のバラ」と呼ばれ人気を博しました。

日本人としてのアイデンティティーと、西洋のクラシック音楽に携わる我々3人を重ね合わせ、あえてカメラアヤトリオなどの横文字は使わずに、日本語の「椿三重奏団」と命名することにしました。

どうぞ白い椿の花言葉をイメージしながら、私達の演奏をお聴き頂ければうれしく思います。

椿三重奏団 礒絵里子、新倉瞳、高橋多佳子

### Profile

#### 礒 絵里子 (ヴァイオリン) *Eriko Iso, Violin*

桐朋学園大学卒業後、I.オISTRAフ氏に招かれ、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学。修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクール他国内外のコンクールで入賞。世界各地でのリサイタル、ソリストとして日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、チェコ・フィル、フランダース放送響他国内外のオーケストラと多数共演し、「知性と感性と技術の実力派」と高い評価を得る。宮崎国際音楽祭へは毎年参加、「題名のない音楽会21」「アインシュタインの眼」「クラシック倶楽部」他テレビ・ラジオ出演も多く、2010年よりFMヨコハマ「礒絵里子のSEASIDECLASSIC」のパーソナリティを務めている。

メインのソロ活動に加え、従妹神谷未穂との「デュオ・プリマ」「EnsembleΦ(ファイ)」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。アウトリーチ活動にも積極的に参加している。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。現在9枚のCDが好評発売中。洗足学園大学講師として後進の指導にもあたっている。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり、「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。

オフィシャル・サイト <http://www.34-net.com/eriko>

#### 新倉 瞳 (チェロ) *Hitomi Niikura, Cello*

幼少期をアメリカとドイツで過ごす。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂新人演奏会に出演し御前演奏を行う。その後スイスへ渡りバーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga、Martin Zaller (バロックチェロ) の各氏に師事。2014年よりCamerata Zürichのソロ首席チェリストに就任。国内外での受賞歴も多数、近年では第18回ホテル オークラ音楽賞を受賞。桐朋学園大学在学中にEMI Music JapanよりCDデビュー後CDを多数リリース、国内外でリサイタル、オーケストラとの共演を重ね、TV、ラジオにも多数出演。現在はスイスを拠点にソリストとして国内外で活躍する中、司会、番組ナレーション、ドレスのプロデュース等活動の幅を広げ、近年ではサントリーホールで行われた歌舞伎俳優の尾上松也氏とのコラボレーション「セロ弾きのゴーシュより～某(それがし)はセロである」にて音楽劇に挑戦し、好評を博した。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたGiovanni Grancino(1694年製)。

オフィシャル・サイト <http://www.hitominiikura.com>

#### 高橋 多佳子 (ピアノ) *Takako Takahashi, Piano*

第12回シヨパン国際ピアノ・コンクール第5位、第6回ポルト市国際音楽コンクール第2位、第3回ラジヴィーウ国際ピアノ・コンクール第1位、第22回日本シヨパン協会賞などを受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・シヨパン音楽院研究科を最優秀で修了。その後10年間にわたりポーランドで研鑽を積む。国立ワルシャワフィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響など国内のほとんどの主要オーケストラと共演を重ねる。既に19タイトルのCDをリリースし、《シヨパンの旅路》、《ラフマニノフ:ピアノソナタ 第2番&ムソルグスキー:展覧会の絵》(オクタヴィア)など多くが「レコード芸術誌特選盤」となる。2015年刊行の《シヨパンの本》(音楽之友社)ではDVDでのピアノ演奏を担当し、発売と同時に大きな話題となった。宮谷理香とのピアノ・デュオ「デュオ・グレイス」としても活動。2010年から《茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会》全国ツアーに参加。浜離宮朝日ホールでのリサイタルシリーズ《シヨパン with フレンズ》(全4回)、《名曲達の饗宴》(全3回)は、各回ともに優れた企画と高い音楽性で絶賛を博した。ヨーロッパの著名な国際音楽祭への出演や、ポーランドの《青少年のためのシヨパン国際コンクール》、ロシアの《ラフマニノフ国際コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的なキャリアも築いている。

オフィシャル “Facebook” <https://www.facebook.com/takakoChopin1990>

#### アクセス

JR京浜東北線(根岸線)本郷台駅より徒歩3分  
〒247-0007 神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷-1-2-1  
TEL 045-896-2000 E-mail [info@lilis.jp](mailto:info@lilis.jp)  
FAX 045-896-2200 URL <http://www.lilis.jp>  
開館時間 9:00~22:00 (チケット受付21:00まで)

※駐車場は有料です。駐車台数には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

